

森を感じ、木を感じるものづくりプロジェクト

福島県立テクノアカデミー浜

阿部 祐作・鈴木 飛翔・但野 京冴・早坂 利也・星野 辰弥

1.はじめに

私たちは、これまで多くの木材に触れ、様々なことを学び、吸収している。しかし、いざ考えてみると木がどのように利活用されているのかも見たことがなく、本当の意味では木の大切さがわからないのではないかと疑問を持った。

この疑問を解決すべく私たちは県内・県外と様々な場所へ研修に行き、木材の利活用の工程をしっかりと理解した上で、木製品の製作に取り組みたいと考えている。そして、森林の大切さと木製品の魅力を発信したいという思いと、建築技術者として、高いレベルで作業をこなすことを目標に立て、本プロジェクトの活動を始めた。

3.活動の成果

(1) 森を感じる

〈フォレストパークあだたら〉

森林の中でスギの伐倒体験をさせていただいた。切り倒すその瞬間は、迫力があって爽快だった。



〈Instagramでスギを切り倒す動画を投稿〉

2.プロジェクトの概要

【森を感じる】

森林・林業の実態を知る

【木を感じる】

原木から材木になる工程について学ぶ

【木材の利活用】

現場見学をとおして活用事例を知る

【情報発信】

SNSで活動状況を発信ものづくりに取り組む

(2) 木を感じる

〈相馬地方森林組合製材所〉

木材の加工の工程を、分かりやすく実際に見学しながら学ぶことができた。帯鋸を使った製材は、効率よく多くの木材を加工する上で、必要不可欠である。



(3) 木材の利活用

日本初の高層純木造耐火建築物である「Port Plus」を見学した。耐火性と耐震性を確保する技術を採用して3時間耐火を、実現した構造材など初めて見るものがほとんどで、全てが新鮮だった。



(福島県北森林組合事務所)

県北地区の山林から搬出した材を構造材に使用した**福島県北森林組合事務所**を見学した。玄関に構える化粧柱が、1本あたりが約1.6万円なことや、純木造での大スパンの間取りを実現したことなど木を活かした、空間が魅力的だった。



(Port Plus)

一般家庭約25万世帯分の電気を届ける**福島いわきバイオマス発電所**を見学した。木質ペレットを燃料として燃やし、その熱で蒸気タービンを回して発電していた。

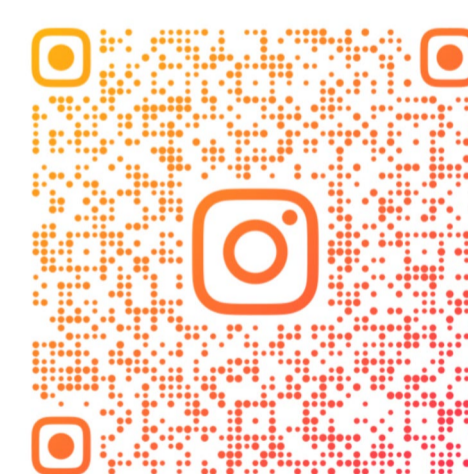


(福島いわきバイオマス発電所)

(4) 情報発信

〈テクノアカデミー浜Instagram〉

活動や企業見学の様子などを写真・動画とともに、投稿しています。私たちが、学んできたことを、多くの方々に知っていただくために、投稿をしています。



@FOREST_ACTION2023



再生回数1位 (25,700回超え)

4.まとめ

今回の活動をとおして、改めて木の大切さや必要性を深く感じる事ができました。私たちが、日頃から使用している木材や加工された木製品は、多くの方が携わることで1つ1つが成り立っているのだと現場見学をとおして学ぶことができた。情報発信のためInstagramを活用し、施設外研修や実習で作業をしている風景など木に関わることなどを多くの人に知っていただくために投稿してきた。また、今回の活動だけでなく、将来的には仕事で得た森林の大切さと新たな魅力をより多くの人に知っていただくよう努めたい。そして、常に地元木材への感謝の気持ちを忘れない建築技術者を目指していきたい。